

気仙沼湾・唐桑半島東部海域貝毒プランクトン調査結果

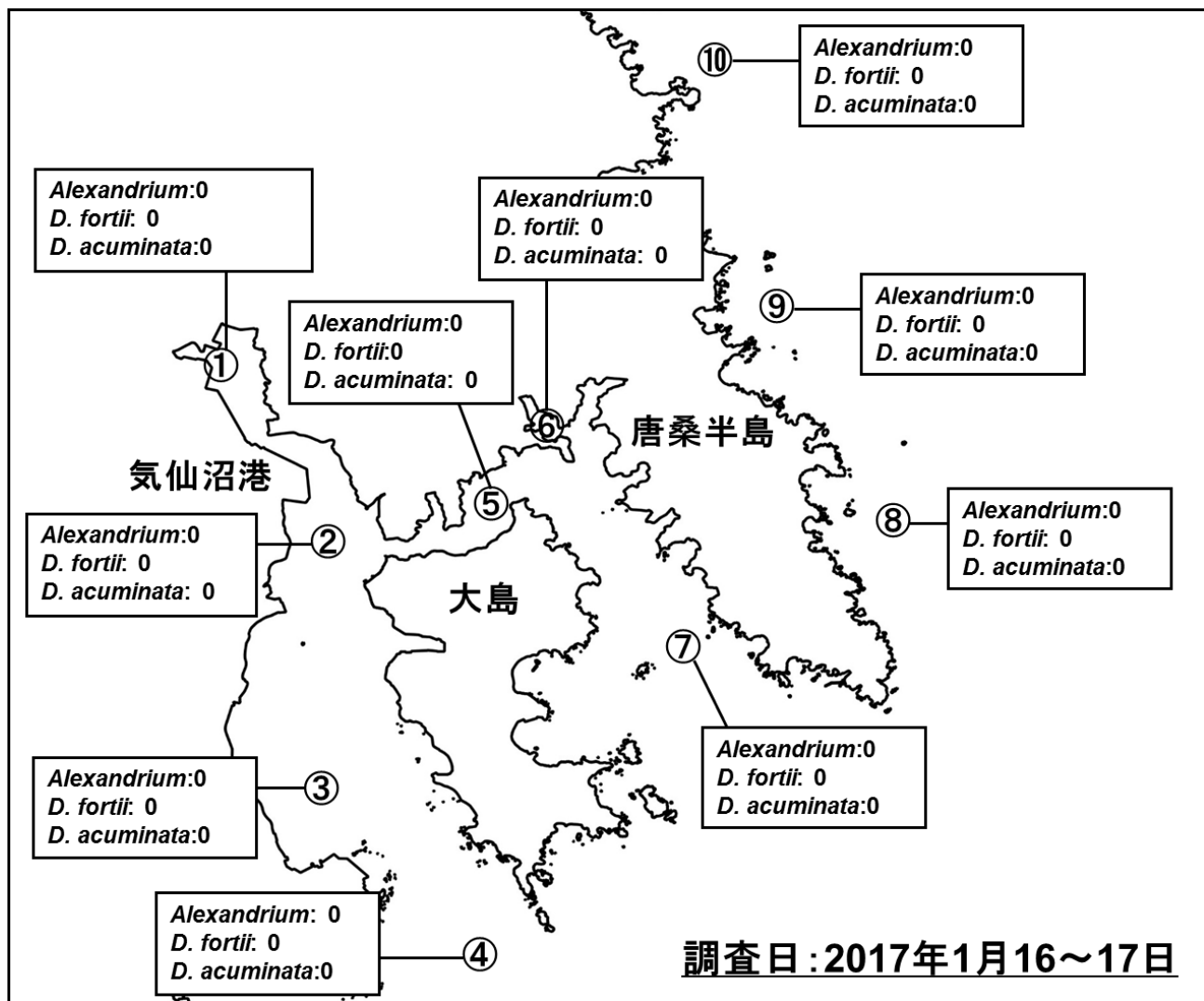


表: 今回(1月16~17日)の調査結果

調査地点	水温	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備考
			Alexandrium	Dinophysis			
				D. fortii	D. acuminata	その他のDinophysis	
①港町	6.27	33.75	0	0	0	0	
②母体田	8.29	33.64	0	0	0	0	
③二ツ根	6.75	33.72	0	0	0	0	
④岩井崎	6.85	34.15	0	0	0	0	
⑤大島瀬戸	8.30	34.55	0	0	0	0	
⑥舞根	7.29	34.33	0	0	0	0	
⑦唐島	8.17	34.71	0	0	0	0	
⑧滝浜	-	-	0	0	0	0	
⑨石浜	-	-	0	0	0	0	
⑩大沢	-	-	0	0	0	0	

※Alexandriumは麻痺性貝毒、D. fortiiとD. acuminataは下痢性貝毒の原因プランクトンです。

※水温、塩分、プランクトンは水深0~10 mの柱状採水によるサンプルのデータです。

※唐桑半島東部(⑧~⑩)の次回の調査は2月13日の予定です。

